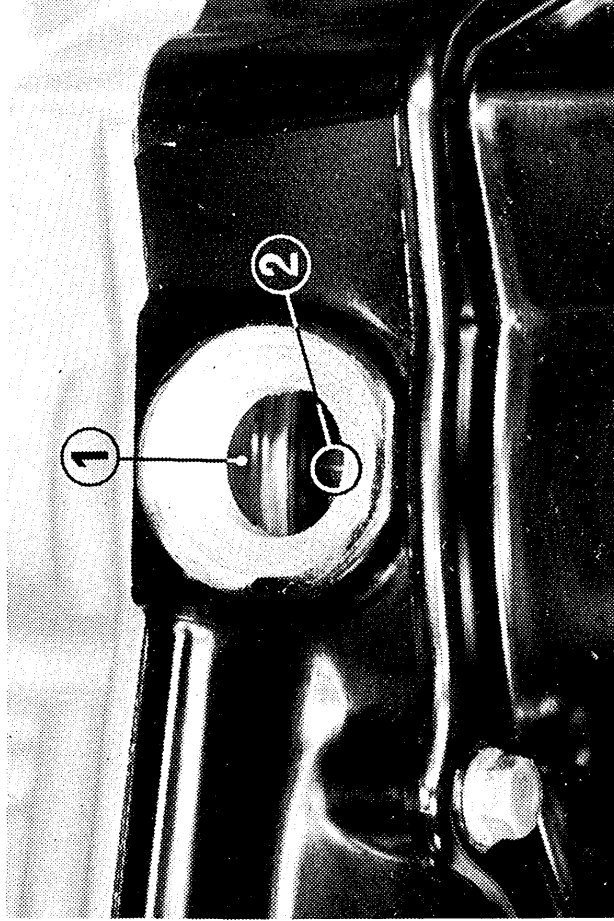


●タペットの調整

タペットの隙間が有りすぎると騒音の原因となり、すくなくすぎるとバルブに損傷をあたえたり出力低下の原因となります。

1. クラシックスのホルキヤップを外します。
2. タペットホルキヤップを外します。
3. クラシックスを左に回して、圧縮上:死点の間をシックスゲージで点検します。

“T” マークと合わせマークを合わせてタペット隙間をシックスゲージで点検します。

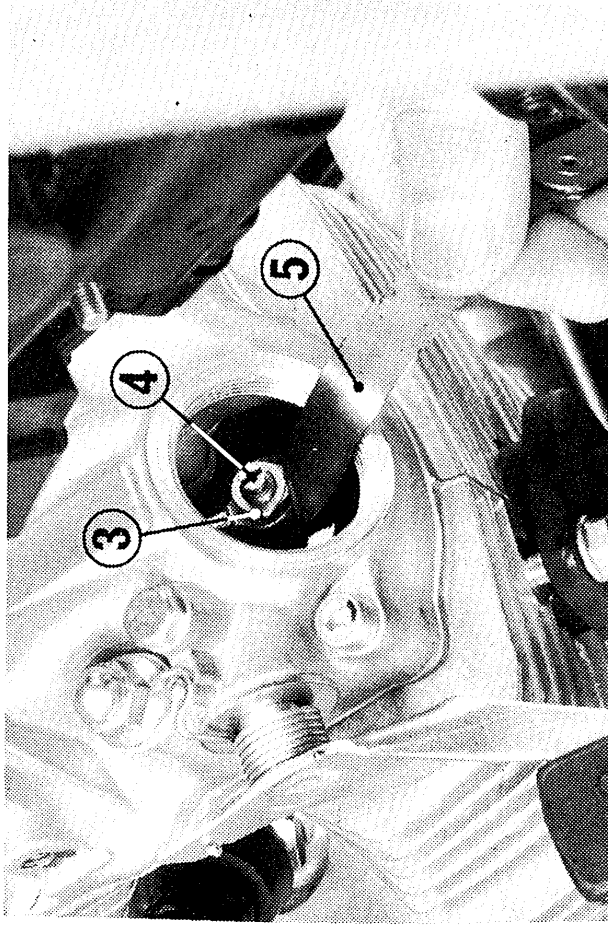


①“T”マーク ②合わせマーク

タペット隙間	
IN	EX
0.05mm	0.05mm

<注意>

- タペットの隙間点検、調整はエンジンの冷間時におこないます。



③ロックナット ④アジャストスクリュー
⑤シックスゲージ